

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

### 【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

Casa securitas

グループの名称

未来塾

直近採択グループ番号

04-0733-0508

(グループ代表者)

代表者名

毛利 幸一郎

代表者印

代表者所属先

二上木材株式会社

代表者所在地

大阪府羽曳野市島泉9丁目23番4号

代表者電話番号

072-939-6877

(グループ事務局)

事務局事業者名

二上木材株式会社

事務局担当者名

長谷川 真里

印

事務局郵便番号

583-0881

事務局所在地

大阪府羽曳野市島泉9丁目23番4号

事務局電話番号

072-939-6877

事務局FAX

072-952-3655

事務局担当者E-mail

hasegawa@nijomokuzai.co.jp



B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		20	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)					戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)					戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)					戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)					戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		4	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)					戸	
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		4	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)					戸	
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		4	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)					戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		4	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)					戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		棟				
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟					
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	補助事業への参加を希望される施工業者全社に最低1戸を配分し残りは全て話しあううえでグループへの配分戸数を余すことのないよう配分する。								
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	11	戸	交付申請戸数	11	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m <sup>2</sup>	交付申請床面積	0	m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m <sup>2</sup>	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) Casa securitas	(地域型住宅供給対象地域) 大阪府及び近隣府県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 未来塾	(結成年) 2014年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0733-0508	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	【5つのSecuritas～まもる～】 <1> 犯罪から家族を守る <2> すまいの品質を守る <3> 森林環境を守る <4> 家計を守る <5> 薄れゆく伝統文化を守る 5つのSecuritas(まもる)を基本性能の柱とします。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	【5つのSecuritas～まもる～】(建て方や様式) <1> 防犯性に優れた玄関ドアや窓や玄関ポーチに人感自動センサーライト等の採用 <2> 全棟地盤調査の実施、耐震等級2以上の確保、住宅履歴管理の蓄積、未来を見据えたバリアフリー化など <3> おおさか材や合法木材の使用 <4> 断熱等性能等級4以上、雨水タンク等の利用による節水や一次エネルギーを抑える節電機器の推奨、ファイナンシャルプランナーによる無料資金相談の実施など <5> カウンター(ニッチ・窓台等)を設置し、良き日本文化(四季に応じた伝統や行事)を子どもたちに引き継いでいく場をして利用	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	地域の街並み、景観などのガイドラインルールに沿った街並みを遵守する。	◎
④①～③の背景	大阪府は約300年の歴史を持つ人工林地域を有していますが、都道府県別の面積と森林面積を比較した森林率(林野庁統計)で茨城県、千葉県に並び31%と低い地域となっています。また南海トラフ巨大地震発生時の甚大なる被害予測があり、災害対策が検討されている地域でもあります。海外から高い評価を受ける日本の文化や四季ですが、現在の子どもたちが日々感じ取っているものはごく一部になっています。と言うのも離人形など飾るスペースなどが今の住宅に乏しく、設置場所に苦労している住宅環境があります。離人形や兜、四季折々の花々などを今まで以上に触れ、感じる空間を提供していきます。そして、刑法犯・窃盗犯認知件数など全国平均より下位など、これら大阪府特有の諸事情を解決する家創りとして、本グループは【Casa Securitas～まもる】をテーマに工務店や構成員と共に取り組みます。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	3ヶ月に1度の未来塾研修会に参加し、将来に向けて、ゼロエネルギー住宅の知識を得る。	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: あらかじめ使用量の多い資材については、流通業者で在庫を行ない円滑な供給に努める。統一規格に可能な範囲を事務局が調整し合理化を図る。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 統一規格に可能な範囲を事務局が調整し合理化を図る。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局が中心となり、流通業者との打ち合わせを行い仕様の設定を行う。	◎
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 欠品による資材不足や人材不足などの影響を最小限に止める。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局が中心となり建材や設備機器等の選定を行い、供給量と需要量のバランスを図り安定供給に努める。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局と流通業者が中心となり、原木・製材・メーカーなどからの情報を集約し、必要に応じその都度開催する。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工の構成員、設計の構成員に対し、メーカー、流通事業者と共に事務局から機能・性能が優れていた商品の提案、提供を行います。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となり施工構成員やメーカー、建材流通などの構成員と共に【5つのSecuritas】の内容を説明資料やマニュアルなどを活用しながら、技術基準の一定化を図ります。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が作成した【5つのSecuritas】の独自のチェックリストを用いて、事務局と施工構成員で確認を行う。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: あらかじめグループで使用している商品やサービスを事務局で選定し、標準仕様の見積りを作成する。またその見積りを活用した見積書をお施主様に提示する。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的な取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・工務店が住宅瑕疵担保保険に加入し、責任をもってお施主様に重要事項の説明を行う。 ・お施主様に設計図書などの書面から維持メンテナンス、適切なリフォーム時期に至るまでの履歴情報を30年間に亘り住宅履歴管理サービスなどを通じて提供する。 ・お施主様が安心して住宅建設を依頼できるよう完成保証の加入を推奨する。 ・ファイナンシャルプランナーによる無料資金相談会を希望するお施主様向けに実施し、ライフプランなど今後の生活への安心へ繋がります。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建築業界が子供たちのなりたい職業ランキング上位になる様、その1つとして職場での労働環境の改善に取り組む様、会員に提案する。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現行法のコンプライアンスに基づいた建築知識をもち、建築施工できる様に各技能免許を取得する様、事務局から進める努力をする。	○
③ 社会保険への加入	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 当会員は社会保険に加入されている為、特に何もしていません。	
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 現場でいろいろな事故が起こらぬ様に、会を通して勉強会を行っている。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) Casa securitas	(地域型住宅供給対象地域) 大阪府及ぶ近隣府県	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 未来塾	(結成年) 2014 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0733-0508		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 30年間に亘りお施主様と工務店との情報共有、管理を行う。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴管理サービス「住宅履歴の図書館」を利用する。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 情報サービス期間を活用し、クラウド上での監理を行う。	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となって、グループ内でメンテナンスの提案や勉強会などの運営を行う。	◎
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 本グループが供給する物件に対しインスペクションガイドラインに沿って住宅の劣化状況の調査などの勉強会も推進していく。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第3者機関による点検を計画し、点検内容等を事務局にて監理する。	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 活用実績のない施工の構成員や設計構成員に対し1棟でも受注・施工実施に繋がるよう勉強会などを行い、事務局が中心となってサポート体制を作ります。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 1ヶ月～2ヶ月に1回程度、事務局が中心となって省エネ・ゼロエネルギー住宅、長期優良化リフォーム、フラット35等様々なテーマで勉強会を継続的に行います。	◎
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 1ヶ月～2ヶ月に1回程度、事務局が中心となって省エネ・ゼロエネルギー住宅、長期優良化リフォーム、フラット35等様々なテーマで勉強会を継続的に行います。	◎
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計構成員、施工の構成員、事務局が中心となり、インスペクションのガイドラインに沿って物件への維持管理検討委員会を昨年度より設置、監理を行っています。	◎	
⑤ その他の維持管理の手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 設計構成員、施工の構成員、事務局が中心となり、インスペクションのガイドラインに沿って物件への維持管理検討委員会を昨年度より設置、監理を行っています。	◎		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ構成員の工務店が倒産などで長期維持管理が出来なくなった際は、事務局を中心として引き継げる工務店を紹介し継続する。	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ構成員の工務店の施工物件で瑕疵が発生した場合、グループ内で内容検証や対策など同様の瑕疵に繋がらないよう注意喚起の講習会を開催する。	◎	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 活用実績のない施工の構成員や設計構成員に対し1棟でも受注・施工実施に繋がるよう勉強会などを行い、事務局が中心となってサポート体制を作ります。	◎	
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 1ヶ月～2ヶ月に1回程度、事務局が中心となって省エネ・ゼロエネルギー住宅、長期優良化リフォーム、フラット35等様々なテーマで勉強会を継続的に行います。	◎	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となって、適切に行われているかを確認します。	◎	
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅や認定低炭素など手掛けたことが無い工務店への実施への働きかけを行い、長期優良住宅などを手掛けたことがある工務店をゼロエネ住宅の実施へと勉強会や提案を続け、促していきます。	◎	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: その他の省エネリフォーム施策や【フラット35】の活用なども案内し、活用していけるような取組を行います。	◎	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各グループ構成員よりリサーチし、事務局が中心となって様々なテーマで構成員に対し勉強会や提案を行います。また、長期優良住宅認証の取得に対しスムーズに流れる様、事務局が中心となってサポートも行います。	◎	
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数	
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数	
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネルギー講習会の開催等を事務局が中心となって、メールマガジンや情報配信を行う。	◎	
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メーカーや流通構成員と事務局、実績のある施工構成員にて検証・検討を重ねます。	◎	
	② 新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 実績のある構成員へ事務局より提案を行い、積極的な導入を促します。	◎	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		3ヶ月に1度の未来塾研修会に参加し、将来に向けて、ゼロエネルギー住宅の知識を得る。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) Casa securitas	(地域型住宅供給対象地域) 大阪府及ぶ近隣府県												
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 未来塾	(結成年) 2014 年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0733-0508													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
a	地域材利用に関する													
①	共通 ルール(必須)	グループ指定の地域材(おおさか材・合法木材など)を主要構造材(柱・梁・桁・土台)の50%以上使用する。また、おおさか材(杉など)を活用し、伝統文化を継承するカウンターとして採用する。												
②	地域材利用の1棟当 たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上												
③	標準的な地域材の使 用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
④	地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に關 する補足説明	<p>&lt;補足&gt;地域型住宅の地域材の供給の流れ ・一部、施工グループの構成員において、すべて手刻による可能を行う為、地域材の供給の流れの中で、製材・集成材・合板グループから直接購入を行う場合がある。また、一部流通グループを介さず、地域材の調達を行う場合がある(一部プレカットを使用する場合)。 ・原木供給者が海外である為、本申請において必要とされる本社の法人登記事項証明書及び念書の入手が不可能であった為、原木供給者の登録を行っていない。該当事業者の原木出荷が適合していることを以下に示す。 1) 以下に該当する認証制度に基づく証明書の添付PEFC森林認証制度・森林経営の持続性や環境保全への配慮などについて民間の第三者機関により認証された森林から算出される木材・木材製品 2) 原木の産出国が判る書類の雛形の添付 ※製材・集成材・合板グループに所属する出荷者による合法性の証明によって代替する。</p>												
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域材をグループ内に安定供給する為、供給量と需要量を常に把握する。												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 流通事業者で在庫を行い円滑な供給に努める。												
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 急騰する価格情報や材の欠品など供備に纏わる情報は、事務局が中心となってグループ内に発信する。												
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 30 枚												
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数: 10 坪												
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 10 枚												
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 10 枚												
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 品質の高いおおさか材を和室装飾や中段、枕棚にも使用できるようにグループ内の供給体制を作る。												
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: おおさか材のカウンター(杉)などを採用し、伝統的な文化も継承します。												
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 事務局が主催するイベント等で、伝統的な家具などを作成する職人の技術を子供達に披露し、伝えます。												
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 良き日本文化(四季に応じた伝統や行事)を子どもたちに継いでいく場としてカウンターなどを設置し、親世代から子世代へと継承していきます。												
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 地域の街並みや伝統的な素材の活用も提案しながら、景観などのガイドラインルールに沿った街並みを厳守します。												
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和室の文化や過ごし方など、なじみの薄い若い世代のお施主様に対し積極的に提案します。												
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。														
カ. その他														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
東日本大震災の復興に資する取組	被災した東北地方の合板メーカーから構造用合板(主に910ミリ×1820ミリサイズ)を購入し採用する。	○												
平成28年熊本地震の復興に資する取組	九州地方の杉材を購入し採用する。	○												

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。



1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> Casa securitas	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 大阪府及ぶ近隣府県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> 未来塾	<small>(結成年)</small> 2014 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	04-0733-0508	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
高度省エネ型(認定低炭素住宅) ・省エネ法の省エネルギー基準の一次エネルギー消費量を10%以上削減 ・2項目以上の選択項目を採用する。 ・一般財団法人 省エネルギーセンター選定 省エネ大賞を近年受賞した建築関連の商品をリスト化し、お施主様へ提案・採用を促します。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。